

大バビロンの滅亡

2026年7月5日

ヨハネの黙示録	17章	宗教的バビロン(大淫婦)へのさばき
ヨハネの黙示録	18章	政治的バビロン(反キリストの支配)へのさばき
イザヤ書	13~14章	(バビロン滅亡の手段と方法)
エレミヤ書	50~51章	(イザヤと同じ・首都バビロンを攻める軍勢)

- 序：人類の世界の歴史のクライマックスは終末
終末のクライマックス=ハルマゲドンの戦いとキリストの地上再臨(8つの段階)
- ①反キリスト同盟軍の召集(ハルマゲドン：イズレエル平原)
 - ★②バビロンの滅亡(世界統一宗教的勢力 17章・世界大政治的勢力 18章)
 - ③エルサレムの陥落
 - ④ポツラに攻め入る反キリストの軍勢
 - ⑤イスラエルの国家的新生
 - ⑥キリストの地上再臨
 - ⑦ポツラ～ヨシャバテの谷に至る戦い
 - ⑧オリーブ山に勝利の主が立つ

I. 大バビロン：首都はバビロン (宗教的/政治的)

- 17章：世界を統一化する偽宗教
- 18章：反キリストが統治する政治的組織、統一国家権力

(1)患難期前半・後半の宗教形態

- 前半：宗教的バビロンによる支配=世界統一宗教、従わない者は迫害される
 - 中間：反キリストが従来の礼拝を止めさせ破壊
 - 後半：自分の像を至聖所に置き、礼拝させる(信奉者に666の刻印)
しない者を抹殺
- 患難期の中間～ハルマゲドンの戦いの始まるまで続く

大淫婦(神に敵対、冒瀆し、あらゆる霊的肉的淫行により王たちを陥落させる)

(2)患難期前半・後半の政治形態

- 前半：十人の王が十の国を治める(世界全体)
- 中間：反キリストが3人の王を殺し、7人の王を支配下に置く
- 後半：反キリストが世界統一政府を統治する

こうして、反キリストが政治的にも宗教的にも権力を独占統治する

この二つの勢力組織は結託して、神によって滅亡させられるまで世界を支配した
ただし、それを許容されたのは神、期間は限定つき 17・17
それらは時が満ちて、徹底的なさばきによって滅亡する

II. バビロンと反キリスト

- (1)大バビロン=反キリストが再建する都市：世界の首都となる
- (2)反キリストはこの都市から、世界の政治と経済を3年半の間(大患難期後半)、支配する
- (3)地上の王たち、商人たちは反キリストの悪政に便乗・加担して莫大な富と地位と享楽を得る
- (4)大バビロンへの滅び宣告 1~8節
 - ①不品行、不正、高慢、好色の罪は天にまで達して、神の憤りを免れない
 - ②彼女に欺かれた国々の民も地の王たちも二倍返しの復讐をせよ
 - ③一日のうちに、神のさばきが成し遂げられる
災害(死病、悲惨、飢え)が襲い、火で焼き尽くされる cf. 7・16
- (5)バビロンの悲嘆 9~19節

- ①地上の王たち 9~10
- ②地上の商人たち 11~17a
- ③海上運輸人たち 17b~19

- ①さばきは思いがけず、一瞬に来て、壊滅的だった（嘆き、悲しみ、絶望）
大きな都があっけなく煙となった（無情さ、恐れ）
- ②遠く離れて立っていた（共犯者、同罪者であるのに、彼女の苦しみを恐れた
彼女のための悲しみではない、自己憐ぴん（自分を哀れ、かわいそうがる）
- ③かつての栄誉、ぜいたく、富に満ち足りていた頃を回顧、今日からのお先真
っ暗におびえ恐れる（富や物質、目に見える物に価値を置く、この世が全て
という人生観、未来のことを考えない、希望がない）

(6)バビロンの王（反キリスト）はこの時不在

①エレミヤ 50:43
バビロンの王は彼らのうわさを聞いて、氣力を失い、苦しみが彼らをとら
える。産婦のような激痛が。

②エレミヤ 51:31~32
飛脚はほかの飛脚に走り次ぎ、使者もほかの使者に取り次いでバビロンの
王に告げて言う。「都はくまなく攻め取られ、渡し場も取られ、湿地も火で
焼かれ、戦士たちはおじ惑っています」

反キリストの同盟軍が召集されていたイズレエルの谷にいて、指揮をとった

III. 患難期の聖徒たちへ

バビロンとかかわるな、離れよ 4節
∴その罪にあずからないため
∴ともに災害を受けないため

VI. バビロンの崩壊を喜ぶ人たち

20節
天にいる聖徒たち、使徒たち、預言者たち（彼らは迫害され、殉教）
新約 旧約

V. 廃墟となるバビロン

2節、 21~24節
焼かれ、煙が立ち上る

(1)人間は住まない

- ①生活の音（引き臼）が聞かれない
- ②楽器を奏でる人がない、音も聞かれない
- ③技術を持つ職人もいなくなる
- ④灯火の光は輝かなくなる
- ⑤結婚する者もいなくなる

(2)悪霊、汚れた霊、汚れた鳥の住家となる（千年王国の千年の間）

神の報復

- ①王たち、商人たち、通商をしていた者たちはバビロンにだまされ、民から搾取し
て大儲けをし、富を増やした
- ②聖徒たちが信仰のゆえに殺された、

VI. 結び

(1)この地上の歴史の最後の帝国は反キリストが宗教的にも政治的にも支配する大バビ
ロンである（異邦人の国、神に敵対）

(2)神のご計画は、これらを通してユダヤ人が悔い改めと信仰により立ち返って、救わ
れることである

(3)滅びは「一瞬のうち」と繰り返し言われている 主のさばきは速やか・確実である

(4)旧約にある預言は、時満ちて成就する（今までもこれからも）